

## 男女共同参画事業 働くママ応援企画 「ママ、昼ごはんは自分で作れるよ！」

お子さんの自立を支援し、お子さんにママが社会へ出ることを理解してもらうイベントです。ママがヨガでリフレッシュしている間に、お子さんがママと自分のお昼ご飯を作ります。

メニュー／キャンディロールサンド・カップサラダ・ヨーグルトドリンク

日時／7月30日(土) 10時～13時 場所／岩沼みなみプラザ

講師／子ども向けプログラム：仙台市地域活動栄養士会子どもの食事研究グループ  
母親向けプログラム：KENZO YOGA (けんぞう よが)



対象・定員／働く母親と小学1～3年生の子ども14組(シングルマザーの方を優先します)

参加費／無料

受付期間／7月1日(金)～8日(金) (持参の場合、平日8時30分～17時15分)

申込方法／各児童館・児童センター、さわやか市政推進課に備え付けの参加申込書に必要事項を記入し、さわやか市政推進課まで持参、またはファクス(期間内必着)で提出してください

託児／6カ月～未就学児(無料)

主催／岩沼市・(公財) せんだい男女共同参画財団

共催／全国女性会館協議会 日本テトラパック(株)

※特定非営利活動法人全国女性会館協議会において実施館を募集した、日本テトラパック(株)助成「働く母親を応援する男性・子どもの生活自立支援事業」により実施します。

申込・問／さわやか市政推進課 (☎内線643・644 FAX 22-2143)

## 手話奉仕員養成研修(入門課程) 受講生募集

聴覚障害児者とのコミュニケーションを図るため手話の学習をしたい方を対象に、手話奉仕員養成研修を岩沼市が宮城県聴覚障害者協会へ委託し開催します。入門課程と基礎課程があり今年度は入門課程の実施となります。

期間／7月21日(木)～12月8日(木) (原則木曜日、月3～4回(全20回予定))

※申し込みの際に詳しい日程表を差し上げます。

時間／19時～21時 場所／勤労者活動センター(三色吉字松150-1)

対象者(次の①～④を全て満たす方)／①市内在住または在勤している方、②手話の学習経験のない方、③平成13年4月1日以前生まれの方、④一人で受講できる方

※申込日現在18歳未満の方は保護者の承諾が必要となります。

定員／20人 受講料／無料(教材費等実費3,240円が必要です)

申込方法／社会福祉課の窓口で申込書に必要事項を記入の上、申し込みください

締切／7月14日(木) 問／社会福祉課(☎内線358)

## みみサポサロンのご案内

聴覚障害をお持ちの方、ご家族、関係者の方々を対象にみみサポサロンを開催します。事前申し込みは不要です。お気軽にお越しください。手話や筆談でも対応します。

日にち／7月8日(金) 場所／総合福祉センター(いあいプラザ)2階

内容／

### ①説明会「教えて！マイナンバー制度」

時間／10時30分～12時

いよいよ始まったマイナンバー制度。どんなときに使うのかな？マイナンバーカードは申請すべき？市の市民課職員が皆さんの疑問に答えます。

### ②交流サロン、個別相談コーナー

時間／13時～14時30分

ちょっと一息、気軽におしゃべりをしませんか。個別の相談にも応じます。

※10月7日(金)にも開催予定。

問／宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ) (☎022-393-5501 FAX 022-393-5502)

☐info@mimisuppo-miyagi.org ㊦http://www.mimisuppo-miyagi.org



## いわぬま市民夏まつり実行委員募集

8月20日(土)に“いわぬま市民夏まつり”が開催されます。あなたも実行委員として夏まつりを盛り上げてみませんか。当日の運営はもちろんのこと、実行委員会に参加し、イベントの企画や出展者の受付などを行います。市民参加の楽しい祭りにしていきましょう。

詳しくは下記までお問い合わせください。

問／岩沼市商工会 (☎22-2526)、  
商工観光課 (☎内線323)



## いぎなり冷っひゃこいルービー飲むすべ？ 第3杯目

夏の暑い時期に、冷たいビールを片手に盛り上がりませんか。岩沼市商工会青年部では、多くの方が利用するJR岩沼駅前で、地元のさまざまな活動をはじめユニークな人物やグルメといった岩沼の魅力を発信するPR事業を開催します。

ぜひ、お越しください。

日時／7月22日(金) 15時～21時

場所／岩沼駅 駅前広場 (東口)

問／岩沼市商工会 (☎22-2526)



## いわぬま震災語り部ガイド募集

東日本大震災の記憶や教訓を後世に語り伝えていくことを目的に、“いわぬま震災語り部”を募集します。震災から5年が経過していますが、震災学習や防災教育の観点から、千年希望の丘をはじめとした「語り部ガイド」に関する問い合わせが増えています。震災の教訓を伝えていくとともに、市のさまざまな魅力などについて一緒にPRしていきませんか。市内で震災を実際に経験された方（沿岸部以外に住んでいた方も含む）、震災当時の様子を語り継いでいきたい方など、皆さまの参加をお待ちしています。

なお、次のとおり語り部ガイドの研修会（無料）を予定しています。研修会終了後、語り部ガイドとして活動していただく予定です。

研修会／7月26日(火) 13時30分～ 2時間程度（市役所正面玄関に集合し、市内をバスで回ります）

申込資格／地域の語り部として市内外に発信し、震災の教訓を後世に伝えていきたい方

申込方法／参加申込書（市ホームページからダウンロード）に必要事項を記入の上、商工観光課まで申し込みください。電話でも受け付けます。

問／商工観光課 (☎内線322)



▲語り部ガイド活動の様子

## いわぬま食育通信 Vol.35 ※奇数月掲載

教育委員会では、平成19年度から継続して、児童・生徒の健康的な生活を身に付けるために6月と11月の年2回「いわぬま健幸運動」を行っています。この調査には、子どもたちの生活習慣についての項目として朝ごはんも含まれています。平成27年11月の調査結果では、市内小学校で94%、中学校は92%が、ほぼ毎日朝食を食べていました。

朝食をしっかりと食べないで登校すると、午前中の授業への活力が不足し、学習にも影響が出てきます。市内小中学校では、この運動を通して早寝・早起き・朝ごはんの実践を推進して、全校児童・生徒が元気で健康な学校生活を送れるように努めています。

### 朝ごはんは、3つのスイッチをONにします



①頭（脳）のスイッチ		ごはんやパンなどの主食に含まれる炭水化物は、脳のエネルギー源になるので、脳の活動力がアップします。
②体のスイッチ		肉や魚・卵や大豆を使った料理の主菜に含まれるたんぱく質は、体温を上げて維持する働きがあります。
③おなかのスイッチ		野菜や果物を使った料理の副菜は、ビタミンやミネラル・食物繊維を多く含み腸を刺激して便通を良くしてくれます。



問／学校教育課 (☎内線563)

